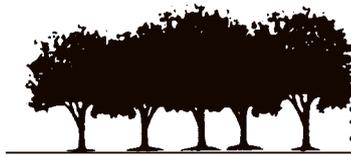


住みよい まちづくり通信



道町連 No. 99

●発行日 令和3年9月15日
●発行 一般社団法人 北海道町内会連合会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地
かでの2.7
☎(011)271-3178 FAX(011)271-3956
E-mail : info@d-choren.or.jp

ホームページ検索 検索

講義

テーマ コロナ禍における避難所での過ごし方



▲講師の日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授

実践報告

テーマ コロナ禍での町内会・自治会の防災活動
～地域の防災意識を高める～



原 みちるさん (札幌市西区琴似2条中央町内会総務部長)

コロナ禍で活動が制限される中、予算を有効活用するため、防災風呂敷を製作して町内会210世帯へ配付されました。



横山 芳江さん (一般社団法人日本風呂敷文化協会代表理事・防災士)

災害時には給水袋のほか三角巾や頭巾、抱っこひもとしても活用できる耐水性のある防災風呂敷の活用法を防災士の視点からお話いただきました。

初の オンライン開催

令和3年度町内会活動実践者研修会が初のオンライン開催として350名を超える視聴を得て開催されました。
本年度は、コロナ禍における町内会・自治会の防災・減災をテーマに、インターネットによるオンライン開催として実施。実践報告と講義は、新型コロナウイルス対策に十分留意しながら生中継で配信しました。

シリーズ② コロナ禍における町内会の防災・減災

令和3年度町内会活動実践者研修会の報告

目次

令和3年度町内会活動実践者研修会の報告	1～3	令和3年度総会の報告	6
ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動	4	オンラインを活用して地域で新しい「つながり」	7
災害に強いまちづくり全道運動	5	道町連からのお知らせ・道町連共済のご案内	8

日本赤十字北海道看護大学教授
災害対策教育センター長 根本 昌宏氏

テーマ
**「コロナ禍における
避難所での過ごし方」**



はじめに

今まさにコロナの災害が進んでいます。このようなかで私達は自然災害とも向き合わなければなりません。コロナの「禍」は言い換えると「災害」と同じです。自然災害では、北海道では夏よりも冬場のほうが間違いなく大変なことが起こります。これに私達はどう立ち向かうのか。様々なことを考えていかなければなりません。

避難はためらわずに逃げるが勝ち

まず、一番の大前提をお話します。皆様が自宅から逃げるとき、コロナがどんなに怖くとも、自分が危ない場所にいる場合には、必ず逃げてください。避難はためらってはなりません。特に津波。さらに土砂、大雨洪水は逃げるが勝ちです。ハザードマップで事前に確認していただくとともに、コロナだからという、その躊躇が数秒であっても、それによって命を落とすこともあり得ると思っています。まずはためらわずに逃げるということを、町内会の皆様にお伝えいただきたいと思っています。

車中泊はエコノミークラス症候群の危険大

逃げる避難は、「立ち退き避難」といい、行政が準備した避難所避難などがあります。最近多くなってきたのが、青空避難といわれる車中泊避難です。車中泊避難はコロナの流行を受けて、アンケート調査でもコロナ前の約2倍に膨れ上がっています。

す。この時に気をつけていただきたいのは、エコノミークラス症候群をはじめとする災害関連疾患です。多くの健康を蝕む要因が車中泊避難にはあります。エコノミークラス症候群はトイレに行かない、水を飲まない、運動をしない、あとは足を曲げたままでいることで足のふくらはぎの静脈に血栓ができる深部静脈血栓症になります。

車中死の危険性

2年前の台風19号、21号で長野県、福島県をはじめとする多くの地域でたくさんの方が命を失われました。この時の衝撃的なデータは水害により命を失った人達の3割が、車の中で命を失っていることです。大雨洪水警報が出ていて、今というレベル4、レベル5のような状態の時に車を動かしてしまった方が巻き込まれました。もう1つは、安全だと思って停めていた駐車場で被災した。この2つです。ハザードマップ上の避難所に行くルートが安全かどうかを自分で認識するのは難しく、このような車中死を起こしてしまう危険性があります。

避難所での疾患はストレスと食事が原因

避難生活は、トイレに始まりトイレに終わります。この対策をうまくやっておかないと、様々な災害関連疾患に巻き込まれます。特にコロナの災害の中では、共同トイレが感染源となり得ます。コロナに感染すると血栓症を起こしやすくなります。一番最初に出てくるのが消化器症状です。お通じが止まります。これは何故か。1つはストレス。もう1つが食事です。おにぎり、菓子パン、カップラーメン。これが三種の神器の



日本の災害食の常識

ように届けられます。加えて不眠、あとは鬱症状。冬場であれば低体温症、夏場であれば熱中症。冬は、車で一酸化炭素中毒も起こります。

自宅にいるときのトイレ対策

自宅が断水した場合のトイレ対策を紹介します。ビニール袋2枚方式です。洋式便座の場合、下に水がたまっていますので、まず1枚目の袋を便座にかぶせ、その上にさらにもう1枚を便座の上にかぶせます。それで便座は他の人と共用ではなくなります。ビニール袋毎に取り替えますので接触感染を防ぐこともでき、普段のトイレをそのまま使うことができます。そのトイレゴミは、基本的には各自自治体がおむつと同じように処理してくれます。札幌市の場合は、災害トイレゴミという枠組みになります。ご自宅に何枚用意したらいいか、計算してみてください。1人が1日5枚。最低1週間。4人家族であれば140枚くらいの計算になります。そして凝固剤140個。今だったら買えます。災害が起きるとあつという間になくなります。ホームセンターなどで購入して、絶対一度経験してみてください。やるかやらないかで全然違います。ぜひ訓練していただきたいと思っています。

災害時の食事は普段と同じものに近づける

災害時の食事を考える時、普段と同じものに近いに近づけるかがとても重要で、キーポイントは塩分を少なくすることです。前段の災害関連疾患の中に高血圧の疾患が入っています。循環器疾患は、災害関連死亡の1、2を争う要因になります。その要因の1つである塩分をいかに下げるかが大事です。そして寒い時には自分達で作った温かい汁物を提供したいと思っています。

防災という言葉を使わない町内会活動

皆様にご紹介したいのは、胆振東部地震の9月6

日の昼の12時。あの地震から、わずか8〜9時間後に、大きな避難所の前に厚真町商工会さんの炊き出し設備が並びました。普段から実施していた活動だそうです。これは、今コロナでご苦労されている皆様の町内会活動そのものです。防災



上仁頃小学校
防災クッキング

活動やりますと旗を振るよりも、夏祭りやりますと祭りの回数を増やすほうが、効果的かなと思います。いかに普段楽しいことを地域の方とやるか、いろいろな世代を交え、子ども達も遊べて、若いお父さんお母さんも参加して楽しめるイベントを、このコロナの状況を踏まえながら徐々に再開していただきたい。それができれば、災害時の食をクリアできる可能性があるのでないかと厚真町から学びました。さらに、北見の上仁頃小学校防災クッキングです。ハイゼックスというビニール袋の中に、地元で採れた、野菜、ソーセージ、これに玉ねぎスープを入れるだけで、とても美味しいスープが出来上がります。防災という言葉を使わないほうがいいかもしれません。私も昨年まで、町内会活動をさせていただきましたので、活動をすすめる上での難しさは、身をもって感じていきます。皆様方の地域でできることを考えていただきたいと思います。

■ 宿泊ベッド

コロナの拡大以降、ブルーシートに毛布1枚の100年間続いた避難所の光景はありません。ダンボールベッドを設置する。これによって床からの接触感染を防ぎます。もう1つ、床から30センチ以上ダンボールベッドが上がりまますので、自分の背中の中

度が床の温度よりだいたい12〜3度上がります。ダンボールは熱を保持する素材ですので、低体温対策、冬の対策としてはとても優れています。逆に、夏使うと暑いです。これは私達の課題です。コロナ禍で、もし災害が起きた時に、皆様方の力で何かをしなればいけないとなった時、パーティションの高さは必ず140センチ以上をキープしていただきたい。家族ごとの飛沫拡散を防止するためです。そして、避難所の入り口では必ず上履きに履き替えてください。

■ 非常持出袋に入りたいコロナウイルス対策備品……

コロナによって新しく加えなければいけない東大の松尾先生とともにまとめたリストがあります。まず、避難所には上履きを持っていくという習慣をつけていただきたい。それ以外には自分のゴミを捨てるためのゴミ袋です。マスクとアルコール消毒液は絶対持って行ってください。あとは体温計。持病の薬。これ手に入らなくなりません。そして、お薬手帳。これは私も薬剤師からの願いです。さらに、ワクチンの接種済証。今まだ、1回目と2回目の接種途中の方がたくさんいらっしゃいます。こういった方が被災すると、2回目は何のワクチンを打つていいかわからないことが起こり得ますので、今、災害用の持ち出しに必要な物ということで加えていただきたいと思います。

■ ポータブル式ストーブは換気が大事……

冬の被災を考えると、避けて通れない暖房器の事案があります。皆様方の自宅のストーブ、停電しても使えますか。もう1つ、水道管は凍らないですか。ポータブル式ストーブは、六畳一間くらいの空間で1個点けただけで、わずか1時間で、健康に影響を及ぼすような二酸化炭素が出てくる。問題はこの二酸化炭素が増えることで、ストーブが不完全燃焼を起こして一酸化炭素が出てきます。これが命を落と

す原因になります。ポータブル式ストーブはあったほうがいいですが、必ず換気をしてください。停電を伴う災害の時には、一酸化炭素中毒により命を落とす例がたくさん報告されています。

■ 町内会のマンパワーを活かす……

今、コロナ対策によって行政は手一杯です。避難所の中で、何か問題が起こってしまうと、避難所の運営が立ち行かなくなってしまう。自分達もしくは町内会でできることは何だろうと最大限考えていただきたい。専門的な知識を有する人材として、電気屋さん、水道屋さん、ガス屋さん、お弁当屋さん等。普段の生活で専門に行っている仕事を、そのまま避難所で生かしてほしい。調理師の免許を持っている方が、スタッフに入ったらもう鬼に金棒です。このような仕組みができあがるのが、発災後の生活の質を高める大きな要因になり、特に地域が強ければ強いほどこれができると思います。

■ 普段の生活の中でのメンテナンスがある……

普段の生活の中のいろいろなことが災害には生きてきます。外でバークキューをすることも防災だと思えます。非常食ありきの防災ではなく、自宅の中で普段使っているものをそのまま使うことを実際に体験していただきたい。胆振東部地震からちょうど3年が経過しました。震災の後に皆様いろんなことを感じたと思います。皆様方、今のうちに、自宅、避難行動、避難生活について考えていただきたいと思えます。受け身型の防災は通用しなくなっています。避難しようと言われてから避難するのではなく、自分から率先して情報を得て動けるか。ここをぜひ考えていただきたいと思えます。最後に、今まさにこのコロナの災害の中にはありますが、たまには町内会の皆様とマスク越しでも構いませんので、顔の見える関係を作っていただき、万が一の時には町内会の活動が生かされるようになることを心から願っています。

ひとりの不幸もみのがさない 住みよいまちづくり全道運動

北海道町内会連合会では、町内会・自治会に、地域のひとり暮らしの高齢者等の見守り・声かけ・助け合い活動を実践していただくため「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動」を平成2年度から北海道社会福祉協議会、北海道共同募金会との三者提唱によりすすめています。

見守り・声かけ訪問活動や ふれあいサロンに取り組み43町内会に助成

令和3年度は、「単年指定」の29町内会に3万円、新たな事業を2年間で組み立てる「2年指定」の14町内会に5万円、合せて43町内会に助成しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため助成を中止しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、地域で見守り・声かけ・助け合い活動をすすめていただくため、実践活動の条件を緩和してご案内しています。二次募集の申請を令和3年12月24日まで受付けています。助成を希望する町内会は、実施要綱等を確認のうえ、所属する連合会を通じて申請してください。

令和3年度 実践活動の条件

単年指定の条件

- ①年1回限りの事業は除く
- ②新型コロナウイルスの感染予防に配慮した活動であること

2年指定の条件

- 2年間かけて新たな事業を組み立て、基盤整備することが目的。
- ①新規事業であること
新たに取り組む事業が対象。基盤整備や組織化のための活動を含む。
 - ②継続して実施する事業であること
2年の指定期間以降も継続実施される事業。
 - ③新型コロナウイルスの感染予防に配慮した活動であること

令和元年度の事例

「若い力を借りて交流を楽しみながら健康づくり」

「稲穂ふれあいサロン」

岩見沢市稲穂町内会

岩見沢市稲穂町内会（314世帯）では、ひとり暮らしの高齢者の閉じこもり防止や認知症予防のため、定期的な健康づくりの活動のほか、季節を感じる七夕まつりやクリスマス会などのイベントを企画し、近隣の大学生にも参加してもらい、地域全体で交流を深めています。

毎月第4水曜日に実施している稲穂ふれあいサロン活動では、岩見沢市オリジナル健康体操「ひゃっぴ体操」（※100歳まで健康でハッピーに過ごすためにつくられたオリジナル体操）や合唱、ゲームなどを行っています。岩見沢教育大学の先生や学生にもサロン活動に参加してもらい、椅子に座った運動やゲームの進行等を指導してもらいながら、交流を深めています。夏休み期間には、ラジオ体操を実施し、三世代あわせて、多いときには80名以上が参加されています。また、年12回のサロン活動に休まねずに参加された方には、皆勤賞の授与式も実施。目標ができるかと参加者には大変喜ばれています。



▲学生さんと一緒に「ひゃっぴ体操」で健康促進

今後は、イベントごととに近隣同士で参加の声掛けを行い、無理をしない範囲でイベントの回数を増やしていきたいとのこと。



▶サロンを一日も休まず皆勤賞

「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動のすすめ」

本運動について、概要や具体的な活動事例、活動のポイント等を紹介した啓発パンフレットを発行しています。このパンフレットは、本会ホームページにPDFファイルを掲載していますので、運動の啓発・活動の計画にご活用ください。
<http://www.d-choren.or.jp/ep01.html>



(A4判・16ページ)

製薬に関する情報や悪質商法をチェック 国民生活センター「見守り新鮮情報」

製品による事故情報や今起きている高齢者や子どもに関わる悪質商法などを、左記のように知らせてくれる「見守り新鮮情報」があります。家族や地域の高齢者のために、申し込んではいかがでしょうか。

見守り新鮮情報 40号

備蓄用に購入していた レトルトカレーが

賞味期限が過ぎました



見守り新鮮情報 申込み 検索

「賞味期限」はおいしく食べられる期限のことであり、食べられなくなる期限ではありませんが、適切な消費を心掛け、定期的に確認しましょう。

日頃から、保存性の高い食品を少し多めに買い置きし、賞味期限などを考えながら計画的に使い、新たに買い足す「ローリングストック法」も有効です。

いつやってくるかわからない災害に備えて、災害用の備蓄食品は定期的に入れ替えしましょう。

道町連共済会員還元事業

災害に強いまちづくり全道運動

北海道町内会連合会では、全国各地で度重なる台風や地震、豪雪、豪雨等による被災を教訓に、「災害に強いまちづくりをめざして」をテーマにした研究大会の開催や研修会への助成事業を通じて、災害時に住民が助け合える安心・安全な地域づくりを推進しています。

防災活動研修会支援助成事業

防災避難訓練等に取り組み42町内会2万円を助成

本助成事業は、連合会や単位町内会が主催する「防災訓練」や「自主防災組織研修会」に対して2万円の助成をしています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため助成を中止しました。本年度は感染予防に配慮しながら、安心・安全な研修会をすすめていただくようご案内しました。結果、令和3年度は、23正会員組織の41組織が実施する研修会に対して助成を実施しました。

研修会のメニュー

- ▶ 自主防災組織研修会や組織づくりのための会議
- ▶ 防災講習会、炊き出し訓練、防災マップづくり
- ▶ 災害図上訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)
- ▶ 応急手当研修会、救急手当研修会
- ▶ 災害時要援護者世帯調査・マップづくり
- ▶ 安心・安全関係者ネットワーク会議

本助成事業は、道町連共済の会費収入を財源に会員還元事業として実施しています。



令和元年度の事例

「災害時に迅速で的確な対応を」

「東白石地区防火・防災訓練」

白石区東白石地区町内会連合会

白石区東白石地区町内会連合会(6,729世帯)では、災害発生時に住民が迅速かつ的確に救急対応ができるように防火・防災訓練を実施しました。訓練は大きく個別訓練と総合訓練の2つに分けて行いました。個別訓練では、参加者が3班に分かれて、①心肺蘇生訓練、②応急担架作製・搬送訓練、③応急措置訓練の3つの訓練を実施。①心肺蘇生訓練では、「胸骨圧迫」と「人工呼吸」やAEDの取り扱い方法を学びました。②応急担架作製・運送訓練では、身近なもので担架を作製し傷病者を搬送する方法、③応急処置訓練では、軽傷者に対する止血法や傷、やけど、骨折の手当の仕方を学びました。

その後の総合訓練は、「大規模地震により建物が倒壊、生き埋め者が発生しているが、消防車や救急車が被災現場に来ることが出来ない」ことを想定して実施。「被災現場で住民が何をすべきか」を考えたことができ、防災意識がより一層高まった訓練になりました。



▲身近なもので担架を作製、搬送する方法を学ぶ



▲大規模地震を想定した避難支援の様子

新型コロナウイルス対策で非常持ち出し袋に加えたいもの

- 1 マスク (不織布マスクを推奨)
- 2 アルコール消毒液
- 3 ハンドソープ・固形石けん(家族もしくは自分用を持参・避難所では共用しない)
- 4 ゴミ袋 (家族もしくは自身のゴミ、とくに使用済ティッシュなどを他人が触れないように)
- 5 体温計 (自治体で用意出来ない場合があるため、使い慣れたものを持参しましょう)
- 6 上履き、スリッパでも可 (床からの接触感染防止、滑り止め付き・転倒防止・静音機能)
- 7 持病用の常用薬やお薬手帳、ワクチン接種済証 (接種券・予約票など)
- 8 ティッシュ・ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋 (通常よりも多めに必要)
- 9 使い捨てのビニールエプロンまたはビニール手袋 (避難所運営を協力する際などに使用)
- 10 水 (多めに持参を、車などで移動する場合はさらに多めに)
- 11 携帯トイレ (トイレは我慢してはいけません。避難所のトイレが使えない場合に備えましょう)
- 12 住所・氏名および緊急時に知らせるべき親族等の連絡先が記入されたもの

出典：新型コロナウイルスと災害避難を考える会
http://www.npo-cemi.com/covid-19/covid-19_evac_items.pdf

令和3年度町内会活動実践者研修会(8月5日開催)において、日本赤十字北海道看護大学の根本昌宏教授に「コロナ禍における避難所での過ごし方」をテーマに講義をいただきました。新型コロナウイルス感染症が蔓延している今、新たに非常持ち出し品に入れている新型コロナウイルス対策備品の提案がありましたので紹介します。
 ※本紙1〜3ページにて研修会の報告をしています。



避難に備えて非常持ち出しのリスト

新型コロナウイルス対策備品

令和3年度 総会の報告

令和3年度総会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催しました。

報告事項では、令和2年度の事業報告、収支決算報告、監査報告について報告。議決事項では、令和3年度の事業計画案、収支予算案が原案どおり承認されました。さらに、役員の新選が行われ、新理事4名と相談役1名が選任されました。

令和3年度道町連表彰は13組織94名へ贈呈

毎年かであるホールにて実施の全道町内会活動研究大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止および例年会場として使用している「かであるホール・札幌市中央区かである2・7」の改修工事のため、中止いたしました。あわせて、大会席上での表彰式を中止いたしました。令和3年度本会表彰は13組織、94名の方々に表彰状、感謝状をお贈りしました。

安心・安全な地域づくりを推進します

オンライン開催への取り組み

令和3年度の研修会、研究大会は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、オンライン開催と並行して安心・安全な地域づくりのために取り組めます。

全国自治会連合会北海道札幌大会の推進

令和3年度全国自治会連合会広島福山大会（11月予定）が、新型コロナウイルスの感染状況が未だ収束しないため、昨年引き続き令和4年度に延期することになりました。そのため、令和4年度に予定していましたが北海道札幌大会は令和5年度へ開催延期となりました。

法人の運営をよろしくお願ひします

令和3年度・役員のご紹介

- 札幌ブロック理事**
 - 副会長 山中 忠典氏（白石区）
 - 理事 高橋 博章氏（北区）
 - 理事 池田 博氏（豊平区）
 - 新理事 山岸 裕氏（手稲区）
- 道央ブロック理事**
 - 副会長 中村 陸男氏（新冠町）
 - 理事 中島 隆義氏（芦別市）
 - 理事 沼田 常好氏（千歳市）
 - 理事 佐藤 裕氏（倶知安町）
- 道南ブロック理事**
 - 副会長 沼田 俊治氏（室蘭市）
 - 理事 堀田 市雄氏（七飯町）
 - 理事 中川 信市氏（登別市）
 - 理事 室井 常雄氏（江差町）
- 道北ブロック理事**
 - 副会長 中村 雅光氏（名寄市）
 - 理事 瀧 勝彦氏（稚内市）
 - 理事 鎌田 勲氏（富良野市）
 - 理事 渡部 一男氏（苫前町）
- 道東ブロック理事**
 - 会長 長谷川敬二氏（根室市）
 - 副会長 三原 忠氏（北見市）
 - 理事 高宮 裕氏（帯広市）
 - 理事 黒木 満氏（釧路市）
- 学識経験分野理事**
 - 理事 原口 勝哉氏（白石区）
 - 理事 庄田 香織氏（道社協）
- 監事**
 - 平川登美雄氏（手稲区）
 - 下原 干城氏（恵庭市）
- 相談役**
 - 福井 政吉氏（洞爺湖町）
 - 笹淵 吉弘氏（手稲区）
- 新相談役**

新しい会員のご紹介

～正会員組織166組織・準会員90組織～

【準会員】（9組織）

- ①白石区菊水元町第4町内会 (R3.5.7付)
- ②南区南沢旭台町内会 (R3.5.19付)
- ③豊平区平岸四区みどり町内会 (R3.5.26付)
- ④豊平区平岸新生町内会 (R3.5.26付)
- ⑤豊平区平岸稲穂町内会 (R3.5.31付)
- ⑥豊平区平岸中央東町内会 (R3.5.31付)
- ⑦豊平区平岸末広町内会 (R3.5.31付)
- ⑧豊平区平岸曙町内会 (R3.6.9付)
- ⑨豊平区平岸協和町内会 (R3.6.24付)

創立記念のお祝い

関係者の皆様おめでとうございます

創立40周年記念

広尾町町内会連合会

会長 秋月 直志

昭和56年5月8日設立

～町内会数が日本一の北海道から就任～

本会 長谷川敬二会長が

全国自治会連合会の会長に就任

第1回全国自治会連合会理事会（令和3年7月8日議決日）が書面で開催され、本会長谷川敬二会長が全国自治会連合会の会長に就任いたしました。

地域でつながるオンライン ～入門編～



町内会・自治会では、安心して暮らせる住みよい地域づくりをすすめるために、福祉や環境美化、防犯・防災からスポーツ・イベント活動に至るまで、生活のあらゆる分野にわたって活動に取り組んでいます。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの町内会・自治会では、活動の自粛や延期、縮小を余儀されてきました。そのような中で、「集まらなくてもつながることができる」オンラインの活用が注目されています。

オンラインの活用は、若い世代が気軽に参加できる新たな機会になったり、従来の役員会議などに出向くための時間や経費の軽減されるなどのメリットがあり、すでに地域で活用されています。町内会・自治会活動の新たなチャレンジとしてオンラインを活用し、地域での新しい「つながり」を広げてみませんか。



▶ オンラインに必要なものは

オンラインでは、カメラ付きのパソコンやスマートフォン、タブレットなど、インターネットにつながる機器の準備が必要です。スマートフォンやタブレットを利用する場合、ポケット通信料等がかかります。長時間使用する場合は、データ通信量に制限がかかるため、Wi-Fi 接続が便利です。

※ Wi-Fi とは: ケーブルなしで機器同士をネットワーク接続する「無線 LAN」の規格のことです。

▶ オンライン会議のメリット

パソコンやスマートフォンを通して、参加者がお互いの画面を見ながら、会話することができるので、自宅にいらながら、打ち合わせや会議に出席することができます。そのため、政府による働き方改革の推進や新型コロナウイルスの影響もあって、在宅勤務制度を導入する企業が増えています。オンラインの主なメリットは、次のとおりです。

- ①どこからでもリアルタイムで、会議や研修会に参加ができる
- ②会議の設営や事前準備の解消
- ③交通費・会場費のコスト削減
- ④会議の所要時間の削減
- ⑤コロナ禍において三密を避けられる

▶ 会議以外にも活用

LINE などのツールを活用すれば、電子回覧板や配布物をデータで送信することができます。電子媒体を活用することで、印刷代がかからず、配布物や回覧板の回送の負担が軽減され、コロナ禍においては、安心・安全に情報を共有できます。

▶ 無料で使えるオンラインの代表的なツール

現在、さまざまなオンラインミーティング用のビデオ会議アプリが、無料でダウンロードできます。アプリは用途にあわせて、使い分けることができます。例えば、LINE は、メール機能と同じく、自分の都合で受取りと内容確認ができるので電子回覧板や配布物に活用するのに適しています。Zoom は、会議の主催者のみ登録が必要で、招待したい参加者へ URL を送り、参加する側は送られてきた URL をクリックすると自動的にアプリがダウンロードされ、会議に参加することができます。また、録音・録画が可能で、参加者全員が、その場でデータを共有できたりと機能が豊富なため、会議には向いているといえます。

アプリ名	最大接続人数	録音・録画	ゲストのログイン	URL の事前発行	挙手・リアクション	PC での最大画面表示数	スマートフォンでの最大画面表示数	無料版の時間制限
LINE	200人	×	○	×	×	16人	6人	なし
Zoom	100人	○	×	○	○	25人	4人	※1
Skype	50人	○	×	○	○	9人	4人	なし
Messenger	50人	×	×	○	×	25人	8人	なし

※ 1 Zoom の無料版の時間制限: 3人以上の参加時、40分の利用制限

▶ さっそくダウンロードしてみよう

新しいものにチャレンジすることは、最初は緊張するものです。特に新しい機材や電子媒体を取り入れることに、抵抗を感じるかもしれません。しかし、新しい「つながり」を広げる良い機会ととらえて、地域でもチャレンジしてみませんか。各アプリのダウンロードの仕方は、インターネットで検索すると、画像付きの詳しい手引きがたくさんありますので、自分にあった手引きを活用してみてください。

令和3年度
ブロック別町内会活動研究大会のご案内

例年、道内4ブロックで実施しておりますブロック別町内会活動研究大会は、インターネットによるオンライン開催とします。

テーマ「安心・安全な住みよい地域づくり」

- 1 とき 令和3年10月29日(金)14:00~16:00
- 2 開催・視聴方法 Zoomによるオンライン開催
あらかじめ、Zoomアプリケーションをインストールしてください。申込後、1週間ほど前にメールにてURLをお知らせします。
- 3 内容(予定)

(1)講演

テーマ 「住民主体の支え合い、安心して暮らせる地域づくり」

講師：松本 行真氏(近畿大学総合社会学部 教授)

(2)実践報告会

- テーマ① コロナ禍で絆を育む町内会活動
報告者：苫小牧市拓勇東町内会
- テーマ② インターネット回覧版で地域の活性化
報告者：千歳市町内会連合会
- テーマ③ 連合自主防災会で災害に立ち向かう
報告者：室蘭市町内会連合会

【お詫びと訂正】

令和3年3月31日付けで発行いたしました本会広報紙No.98の「管内町内会連絡協議会のすがた」にて渡島管内町内会連絡協議会の大折伸明会長のお名前を誤って大折伸男会長と記載しておりましたので、訂正させていただきます。ここに深くお詫び申し上げます。

安心・安全啓発パンフレット
～ハンドブックのご紹介～

北海道町内会連合会では、安心安全啓発のパンフレットとして、次の二つのハンドブックを発行しております。各ハンドブックは一部50円で在庫の範囲内で頒布しております。ご希望の方は、本会事務局までご連絡ください。

防災ハンドブック(改定版)
～大切な家族を守るために～

本ハンドブックは、災害が起きてもあわてず落ち着いて行動できるよう日頃の備えを中心に、災害時の対応のほか、風水害や暴風雪への対策やシェイクアウト(一斉防災訓練)を含めた地震初動対策を盛り込んだ内容となっております。



応急手当・健康ハンドブック
～介護・認知症などに備えて～

本ハンドブックは、道町連共済での身近な事例と家族の町内会活動中の事故でその場に居合わせた方々が助け合って適切な処理ができるよう、応急手当と救急車到着までの救命処置のほか、介護・認知症予防など、健康づくりについて役立つ情報をまとめた内容となっております。



お申込み：北海道町内会連合会
電話：011-271-3178

町内会活動中のケガに
備えていますか？

～全道の町内会活動を支える～

道町連共済のご案内

道町連共済は、町内会・自治会活動中に事故にあわれたとき、お見舞金を支給する北海道町内会連合会の会員相互の助けあいの事業です。現在、全道116市区町村から約11万人を超える(令和3年9月現在)加入をいただき元気で安全な町内会活動を支えています。

- 一人年200円の会費で最高200万円のお見舞金を支給しています。
- 加入者と同居するご家族が代理で活動中のケガもお見舞金の対象になります。

見舞金の内容



見舞金の種類	支給額	条件
傷害見舞金	治療のために被害者が実際に負担した医療費	支給上限を10万円とする 医師の指示による薬代・補装具代も含む
死亡見舞金 B	10万円	死亡見舞金 A に該当しない、活動中の死亡に対して支給 発生後24時間以内に死亡の場合
医師等の診断書(治ゆ証明書)文書料	一事故5,000円を限度に実費支給	通院した日が5日以内の事故は診断書が不要のため除く
※注 医師等とは、医師、歯科医師、柔道整復師をいいます。		
死亡見舞金 A	200万円	活動中における外因・外傷の事故による死亡に対して支給 事故発生後180日以内に死亡の場合
後遺障害見舞金	最高200万円	後遺障害の程度により支給 事故発生後180日以内に生じた場合

※注 死亡見舞金 A、後遺障害見舞金は、北海道町内会連合会が団体契約する損害保険会社から支給されます。

道町連共済のお問い合わせ

一般社団法人 北海道町内会連合会事務局 TEL:011-271-3178